

樹脂原料加工を手掛けるグランツ（本社
稻沢市石橋2の277、堀木祐規子社長、
電話0587・211・73368）は、202
2年5月をめどに新型加工機を導入する。
投資額は約1億円。高機能な樹脂原料の開
発や幅広い加工に対応し、ニーズを取り込
むのが狙い。一段と軟らかいA硬度ゼロの
エラストマー樹脂加工にも対応する方針
だ。（尾張・倉科信吾）

新型加工機を導入する海津工場（海津市）



堀木祐規子社長

樹脂原料加工のグランツ

来年5月に新型加工機導入

高機能品の開発強化



●尾張支社
一宮市栄
2-14-29
アスティ一宮
北館102号
電話
0586(72)5003
FAX
0586(72)6823

●尾東支局
春日井市上条町
1-215
原ビル4階
電話
0568(41)9950
FAX
0568(41)9951

1986年の創業以来、
樹脂原料の開発、加工ノウ
ハウを蓄積し、高難易度の
加工も1ロット25kgから小
ロットで対応している。最
近ではA硬度30（数値が
低いほど軟らかい）のエラ
ストマー樹脂原料のペレッ
ト化や着色加工も手掛け
る。

樹脂は軟らか過ぎると方
が難しく、A硬度30の
エラストマーをペレット化
できる企業は珍しい。今回
の新型加工機の導入により、
一段と軟らかいA硬度
ゼロのエラストマー樹脂加
工も可能となる。

また、新型加工機では添
加剤を配合し、抗菌性や耐
久性などを高めた機能性樹
脂原料の開発、加工も行う
予定。環境意識が高まる中、
木や米などバイオマス素材
を樹脂原料と混ぜて加工す
ることも視野に入れる。

同社は自動車部品、家電、
建材など各メーカーの仕様
に合わせ樹脂原料を樹脂成
形メーカーに供給してい
る。21年8月期売上高は約
8億2千万円。

11月に名古屋市港区で開
催される産業種交流展示会
「メッセナゴヤ2021」
へ出展する予定。同社が加
工したエラストマー樹脂原
料や、生分解性樹脂原料な
どを出品し

メッセナゴヤ
2021
出展企業

技術力をP
Rする。販
路開拓によ
り、25年同
期に売上高
10億円への
引き上げを
目指す。